



(新和商)

# 和商同窓会会報



(旧和商)

(発行所) 和歌山市砂山南3丁目3-94 県立和歌山商業高校内 Ⅲ 36-6456 発行人 村垣龍男 (第8号) 昭和54年3月1日 (木曜日)

## 新理事長、就任あいさつ

### 青春時代を胸に

理事長 村垣龍男 (29)



伝統の誇り高い和商同窓会の新理事長に、若輩の私がお名前をいただくなど、まったく夢にも考えなかつたことでした。

経済界、産業界その他各方面において、数々の立派な業績をあげて活躍されている先輩諸賢の多い中で、その責務たるや甚だ重かつたことでした。

大であることを考えて、その任にあらずと再三再四おことわりいたしました。従来よりもっと年代を下げ、同窓会本部の運営組織を再編成すべきであるという役員方々の基本方針に基づいておこなわれた選考委員会の、数度にわたる熱烈なご推薦を賜りました。以上微力ながら和商同窓会、同窓会の今後の発展を期して、力の続く限り最善の努力をいたすべく、心に誓っております。

引受けした次第であります。もとより私一人の力に及ぶべくもなく、新進気鋭にみちた役員各位のお力添えをいただき、また母校における若い世代の活躍ぶりを見まもり、私自身の若かりし青春時代に思いを馳せながら、五代目理事長として同窓会の名をけがさぬようつとめたいと念願しております。

母校へのきつなを通じて、会員一人一人の深い人間愛に支えられたわが同窓会も、七十四年を経て今や一万八千名を超す大世帯となつていますが、初代理事長の故郷酒井真次郎氏をはじめ、故郷嶋忠一氏、故郷中村常夫氏、故郷田修二氏と、まさに坂の上町時代よりうけつがれた大和商精神を、更にたくましくわが胸に湧かせ、母校の校舎は如何に移り変わつても、前理事長のいわれた如く、母校は「心のふるさと」として、よろこびも悲

しみもお互に肩をたたいて味わった先輩後輩の心のふれあいを大切に、母校躍進に役立ち得られたら、これ程よろこばしいことはないと思ひます。



(丸正百貨店社長)

もより、会員各位のご協力を切にお願いいたします。次期理事長問題と本部運営体制について協議を重ねた結果下の六氏を相談役に選任した。(敬称略)

## 相談役を新設

昭和五十三年十月以降

- 野田聖太郎 (17) 和歌山市、小松原通り三
- 和歌山市、舟津町四一九
- (二三) 一四五四五
- 森本 良助 (21) 和歌山市、西高松三三三四
- (二二) 一三六七〇
- 辻 治躬 (21) 和歌山市、秋葉町一〇一三
- (四四) 一三二三四
- 島 良次 (23) 和歌山市、茶屋町二〇
- (二三) 一三三八七
- 和歌山市、一六二四
- (二二) 一五〇八九
- 嶋 正直 (26) 和歌山市、湊通り丁南四丁
- 目二八
- 和歌山市、湊通り丁南四丁
- 目二八
- (二四) 一五〇八九
- 嶋 正直 (26) 和歌山市、茶屋町二〇
- (二三) 一三三八七

## 新理事長をお迎えして



学校長 小倉 勲

想い出はかおる風、かおる緑の風にのせて... 想い出つきない青春時代の若き息吹きを、母校校歌のリズムに托して、産業界、経済界に雄躍船出した多くの卒業生諸君の御活躍や如何ばかりかと常に祈念いたしております。

## 母校年代誌抜すい⑤ (昭和十一年以降)

昭和11年

第三十回卒業証書授与式を挙げる、卒業生二百二十名(3・4) 和歌山県令第8号により生徒定員を千名に、及び学科目改正の件和歌山県知事より認可せらる(3・31) 第四、五学年生徒有志十九名満州地方へ修学旅行をなす、監督者黒田正康、渋谷重義(8・4) 吉永県知事本校を視察せらる(9・22) 本校に於て本県実業学校第一回訓育協議会を開催す(11・10)

昭和12年

校長西沢喜洋芽京都市立第一商業学校長に補せらる、雨森宣三本校長(九代)に補せらる(1・31) 第三十回卒業証書授与式を挙げる、卒業生百三十五名(3・4) 現役将校配属15周年記念式に東京官城前広場に於て本校職員生徒御親閲を拜受す(5・22) 青少年学徒に賜りたる勅語贈本奉戴す(8・16) 皇后陛下より結核予防の旨を賜ふ(11・16) 日支事変に於ける本校卒業生の戦死戦病者十八柱の慰霊祭を挙げる(11・19) (次号へ)

昭和14年

清水重夫県知事本校を視察せらる(2・17) 第三十三回卒業証書授与式を挙げる、卒業生百四十五名(3・4) 現役将校配属15周年記念式に東京官城前広場に於て本校職員生徒御親閲を拜受す(5・22) 青少年学徒に賜りたる勅語贈本奉戴す(8・16) 皇后陛下より結核予防の旨を賜ふ(11・16) 日支事変に於ける本校卒業生の戦死戦病者十八柱の慰霊祭を挙げる(11・19) (次号へ)

## 新第二十八期卒業生評議員

(昭和五十四年三月卒)

- 一組 羽根 由人 和歌山市、北坂ノ上丁三二二
- 二組 和田 好晴 和歌山市、湊一八二〇
- 三組 田村 和広 和歌山市、西浜八二一西浜マ
- 四組 中野 富久 和歌山市、関戸三丁目五十八
- 五組 大川 真澄 和歌山市、湊栗種畑一三八九
- 六組 黒岩 和子 和歌山市、築港四丁目九
- 七組 谷口 佳史 和歌山市、木広町二丁目四
- 八組 古川知恵子 和歌山市、納定一
- 九組 出口 善胤 和歌山市、内原二二八六
- 十組 南方 良文 和歌山市、布引五二四
- 十一組 鍋島 宏彰 和歌山市、吉礼四三四ノ二市
- 十二組 田村 保人 和歌山市、毛尾庄田四五〇一

昭和五十三年五月二十二日午後六時心不全で急逝。告別式は二十五日午後一時より自宅(海南市船尾四四)でしめやかに挙行され、六月十八日午後には海南市民葬がおこなわれました(於海南市生前のご功績を讃え、謹んでご冥福をお祈りします。)



## 隅田修二理事長 逝去

和商同窓会 理事長 村垣龍男 役員 小倉一 同 小倉一 同 小倉一 同

このたびは一万八千人を超えるこれら卒業生かたがたの胸に培かれた和商精神の要として、今日押しもおされぬ産業界の大御所である丸正百貨店社長村垣龍男氏に理事長として御就任いただいたことは、まことに、いかにして有為な産業人を育成すべきかに全力をかたむけていますが、どうか村垣新理事長の下、新役員による新しい体制をもって、母校の飛躍的發展に力づよい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

